

## 2. 特別支援教育

### 1. 目 標

- 障害の内容や程度に応じ適切な教育を行い、その子どもたちが、将来社会で自立していけるような力をのばす。
- 特別な教育支援が必要な子どもに対して、一人一人の教育的ニーズに応じて、適切な指導や必要な支援を行う。
- 集団の中での学習・遊びや役割を通じて、その子の可能性を伸ばし、人間関係を広げ、社会性を養う。
- 全児童が、特別支援学級の友達との交流を深め、その友達をよく知り、ともに成長できる子どもを育てる。
- 全児童に障害児理解を深めていく。

### 2. 研究テーマ

- 一人一人の子どもの実態をつかみ、その子の可能性を伸ばし、将来社会で自立していける子どもの育成をめざす。
- なかまとともに歩み、たくましく生き抜く子どもの育成をめざす。

### 3. 具体的目標

- (1) 楽しい学校生活を営むための基本的な生活習慣・知識・技能を身につける。
- (2) 健康・安全に気をつけ、学習意欲を起こさせる。
- (3) 思いを正しく表現できる力を身につけるとともに、身辺自立の定着をはかり、集団の中で活動できる力を育てる。
- (4) 生活経験を豊かにする。
- (5) 学習面や行動面で特別な教育的支援が必要な子どもを早期に気づき、実態把握を行い、学級担任の指導を支援する。
- (6) 学年に応じて、絵本・文学教材を通して障害児への理解を深める。

### 4. 指導方針

- (1) 児童の実態を十分考慮し、児童一人一人の発達段階に合った年間指導計画をたてる。
- (2) 特別支援を必要とする児童の指導記録を残す。
- (3) 生活の場に必要知識・技能・判断力を培う。
- (4) 特別支援学級と交流学級との連携を密にする。
- (5) 懇談会などを通して保護者への啓発につとめる。
- (6) 全校児童との交流をすすめる。